

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 大牟田市立倉永小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒837-0906
福岡県大牟田市大字倉永 1307 番地

E-mail kuranaga-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website _____

児童生徒数 男子 99 名 女子 95 名 合計 194 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【1年】「むかしあそびをしよう」(伝統文化・福祉教育)

「こま・竹馬・竹とんぼ・おはじき・お手玉・剣玉・羽子板」など、昔から伝わる遊びをゲストティーチャーである1年生の祖父母から教えてもらった。学習後も、雨の日には、子どもたち同士で楽しく遊ぶようになった。

【2年】「もっと知りたいな町のこと」(環境)

1学期、校区内の町を探検。町の自然、地域の人々、公共物等を探検し、改めて気づいたことや、自分たちの生活と大きくかかわっている発見を話し合い、町探検でお世話になった方々へお礼の手紙や絵を届けていった。2学期には、大牟田市の図書館や動物園等の施設を訪ね、町(市)のよさや人々の温かさに気づかせ、大牟田への親しみや愛着を持たせた。

【3年】「ワクワクドキドキお話探検隊」(思いやりの心・人権)

国語科の学習の発展と総合的な学習の関連を図り、読み聞かせの仕方を保護者ボランティアの方から学ばせた。そして、学んだことを生かして、入学説明会で来校する来年児への「読み聞かせ会」を計画をたてさせた。各班、役割を決めたり小道具を作ったりして、来学年児に喜んでもらうよう主体的に取り組むことができた。読み聞かせが終わって、相手が喜ぶにはどんな関わり方が大切か、また、これからどのような心で接していけばよいかを考えさせた。

【4年】「日本の文化に親しもう」(伝統文化)

日本にある伝統文化について調べさせた。その中で、お正月に飾る「門松」を地域のボランティアの方々から教えてもらいながら、門松を作った。

また、GTを招いて、和太鼓の歴史やたたき方を教えてもらい、学習発表会において4年生全員で神龍太鼓を披露した。日本の伝統文化のよさを体験させることができた。

【5年】「倉永 ふるさと 再発見！」(環境・福祉教育)

地域の良さを見つけるために、地域の人材を活用して、調べ学習を行った。倉永校区にあるたくさんの史跡を巡り、史跡にまつわるエピソード等をGTに教えていただき、改めて倉永のよさを知ることができた。しかし、校区内には独居老人の方が多く、また、地域のつながりが希薄化している等の課題があることも教えていただいた。これらのことを生かし地域と連携して、「倉永の宝」を学習発表会で全児童、保護者、地域の方々に発信していった。

次に、地域に住む独居老人の方に喜んでもらい、地域の一員としてつながりを深めていこうと、平成29年度のカレンダーを作成。校区の民生委員さんと共に訪問し、カレンダーとともに、手紙を添えて手渡しするなどして簡単な交流を行った。

【6年】「倉永スマイルプロジェクト」(福祉)

高齢者福祉の現状と問題等について、地域の社会福祉協議会の方を交えて学習をした。その後、地域にある養護老人ホームに出かけ、将棋やお手玉等で遊んだり、歌を歌ったりして交流を行った。さらに、地域の方のアドバイスを元に作製した門松を4カ所の高齢者養護施設に訪問し届けた。中には涙を流して喜ばれる方も多く、児童も改めて人と人がつながり、支え合う大切さを感じることができた。出会いを大切にして、年賀状も送り届け、養護老人施設から感謝の言葉を添えられた年賀状を児童一人ひとりに届けていただいた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()